

死亡者は**1,835人** 重篤者は**23,879人**

今のところ死亡とワクチン接種との因果関係は証明されていませんが、**13歳の男の子が2回目のワクチン接種後、数時間後に救急搬送され亡くなった例を含め、10代ではワクチン接種後に12人が亡くなっています**

なぜ、テレビでは、接種後の死亡者数がほとんど報道されないのでしょうか？
接種のメリットとデメリットを放送し、視聴者に考える材料を提供するのがテレビの役割ではないでしょうか？

若年層における「コロナワクチン接種後の重篤者数」と「コロナ重症者数」の比較

ワクチン接種後の重篤な副反応

(接種開始～2022年8月7日) 右上のリンクの資料1-2-1より算出

製造販売業者からの報告	重篤者数
5～11歳	128人
12～19歳	1,429人

接種する前までは、健康であったと思われる多くの若者が接種した結果、このような人数の重篤な副反応が発生しています。

新型コロナでの重症者

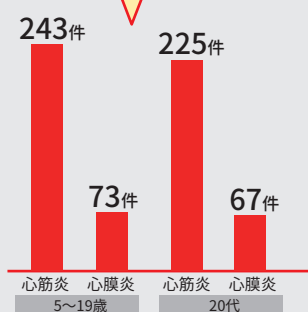
大阪府での第一波～第七波の約2年7ヶ月
(2020年1月～2022年8月)

大阪府	重症者数
0～19歳	41人

新型コロナで、若年層の重症者は極めてまれです。

第98回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード
資料3-8 藤井先生提出資料より

30歳未満では
ワクチン接種後に608件の心筋炎・心膜炎疑いが厚生労働省から報告されています。



ワクチン接種後
2022年7月までの集計

コロナで入院した10代・20代で、心筋炎・心膜炎を発症したと発表されているのは**4人**だけです。

心筋炎・心膜炎
10代・20代
コロナで入院
2021年9月時点の集計

※上記は、報告された**“実数”**ですが、期間・母数を揃えて比較しても、10代・20代の男性では、心筋炎・心膜炎の発生頻度は、**ワクチン接種後の方が高くなっています。**

計算方法

新型コロナ研究室



心筋炎とは心臓の筋肉に炎症が起こり、心臓の収縮力が低下したり、不整脈を起こしたりする疾患です。厚生労働省は、心筋炎・心膜炎を「**重大な副反応**」の位置づけとしました。

インフルエンザワクチンとコロナワクチン接種後の死亡者数の比較

インフルエンザワクチン
(2017年～2019年の平均)

6人死亡
約5,273万回接種

新型コロナワクチン
(2022年8月24日まで)

1,835人死亡
約3億1075万回 接種

死亡率
約**50倍**

コロナワクチンは非常にリスクの高いワクチンだと思いませんか？

厚生労働省制作『薬害を学ぼう』動画～日本の薬害の歴史～

発売当初は安全だと言われ、国が推奨していた薬やワクチンでも、後から薬害が判明することが、これまでにありました。特に、動画の14分からは現在と似た状況になっていないでしょうか？



youtube動画

日本では、新型コロナウイルス感染症における20歳未満の重症者・死亡者も非常に少ない状況です。中長期の影響が不明な人類初のmRNA遺伝子ワクチン(コロナワクチン)を、**急いで子供に接種する必要があるのでしょうか？** メリットとデメリットを調べ、納得してから接種の有無を決めましょう。「少し様子を見る」という選択肢もあるのではないのでしょうか。

